

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内いたします。

当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

敬白

記

■ 実施日 2019年6月13日(木) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード	検査項目	検体量	容器	保存(安定性)	所要日数	保険点数	検査方法	備考
R6123	<div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px; border-radius: 5px; display: inline-block;">曜日指定</div> オンコマイン Dx Target Test マルチ CDxシステム 4遺伝子解析 (FF)	組織 100mg	ARR (r)	凍結	11~14	11,700	次世代シーケンス (NGS) 法	<div style="border: 2px solid red; padding: 2px; display: inline-block; color: red; font-weight: bold;">重</div> がん組織から抽出したゲノムDNAにて、BRAF V600E変異、EGFR L858R変異およびEGFRエクソン19欠失変異、ALK融合遺伝子、ROS1融合遺伝子を解析し、非小細胞肺癌患者に対して別表の医薬品の適応を判断することを目的としております。 受託可能日は月~金曜日です。材料は腫瘍部位が含有されていることを確認の上、ご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &ヨ

●本検査をご依頼の際には、必ず核酸抽出項目(項目コードNo: M9610)も併せてご依頼ください。

● オンコマイン Dx Target Test マルチ CDx システム 4遺伝子解析 (FF)

オンコマイン Dx Target Test マルチ CDx システムは、コンパニオン診断システムとして、BRAF V600E変異、EGFR L858R変異およびEGFRエクソン19欠失変異、ALK融合遺伝子、ROS1融合遺伝子の検出が可能であり、以下の8種類の分子標的薬における治療適応の判定を補助することができます。

<対象遺伝子変異等と関連する医薬品>

BRAF V600E変異	ダブラフェニブメシル酸塩及びトラメチニブ シメチルスルホキシド付加物の併用投与
EGFR L858R変異およびEGFRエクソン19欠失変異	ゲフィチニブ、エルロチニブ塩酸塩、アファチニブマレイン酸塩、オシメルチニブメシル酸塩
ALK融合遺伝子	クリゾチニブ、アレクチニブ塩酸塩
ROS1融合遺伝子	クリゾチニブ

▼疾患との関連

非小細胞肺癌

▼検査要項

検査項目名	オンコマイン Dx Target Test マルチ CDxシステム 4遺伝子解析(FF)
項目コードNo.	R612 3
検体量	組織 100mg
容器	ARR(r)
保存方法	必ず凍結保存してください
所要日数	11~14日
検査方法	次世代シーケンス (NGS) 法
保険点数	11,700点

●組織以外の材料について

採取した胸水、肺胞洗浄液、気管支擦過洗浄液を指定容器 (ARR) に入れ、室温にて遠心分離 (760G (2000-3000rpm) × 10分間) し、上清をできるだけ取り除いた沈渣を、必ず凍結して提出ください。

●留意事項

検体採取後、直ちに処理してください。また、ご提出された検体の細胞数が少ない場合には、検査不能となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

▼参考文献

Meenakshi M, et al: PLoS One12(8): e0181968, 2017. (検査方法参考文献)